

Floppy Disk, CompactFlash™ Misrodrive™, SmartMedia™,
MemoryStick SDCard MultiMediaCard™, Reader/Writer

Internal 7 in 1 Drive

Model YD-8V03

ユーザーズマニュアル

本製品、マニュアルは、コンピュータに関する専門的な知識を有する方向けに作成されています。

お持ちのPCへの接続については、PC、マザーボードのマニュアルを熟読して頂くと共に、不明な点につきましては、お買い上げのお店などにご相談ください。



本製品は、側面取付け方式です。PCにおいては、異なる事も有りますので、予めご確認の上、ご購入していただきますようお願い致します。

Copyright © 2002 Y-E Data, Inc. All Rights Reserved.

P/N 149369-01 Rev. B
December 2002

Internal 7 in 1 Drive ご使用上の重要なご注意

本製品は、通常コンピュータ本体に組み込まれた状態で出荷されます。お客様自身の手で、コンピュータへの組込、取外を行う場合は、コンピュータ本体のマニュアルを確認し、感電等に十分注意して行ってください。

 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ Internal 7 in 1 Drive をコンピュータに組み込む前に、本マニュアルに目を通してください。組み込み前にドライバソフトをインストールする必要がある場合があります。 ■ コンピュータ本体の電源をオンオフする時は、あらかじめ全ての媒体を取り出してください。 ■ 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えたり、振動の激しい場所、高温になる場所に設置しないで下さい。故障の原因となります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解、改造はしないでください。故障、火災、感電の原因となります。 ■ 水気の多い場所での使用、保管は行ないでください。本製品内部に液体がはいると、故障、火災、感電の原因となります。 ■ 指定された媒体以外は、挿入しないでください。硬貨、クリップなどの金属片を差込みますと、故障、火災、感電の原因となります。 ■ アクセス LED のランプが点灯している状態で、媒体を取り出さないでください。 ■ 本製品は、一般的電器機器に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が、人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性を要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、産業ロボット、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等）には、使用しないで下さい。


- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは著作権法上禁止されております。
- 本製品に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いません。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷については責を負いかねます。
- 万一、本製品の製造上の原因による不良がありましたらお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

本説明書に記載して説明図は、実際のコンピュータの画面と異なることがあります。

USB は、Universal Serial Bus の略語です。

IBM は、IBM Corporation 社の登録商標です。

Microsoft Windows は、Microsoft Corporation 社の登録商標です。

 SmartMedia は、スマートメディア、SmartMedia™ は、株式会社 東芝の登録商標です。

コンパクトフラッシュ、CompactFlash™ は、SanDisk Corporation 社の登録商標です。

Microdrive™ は、IBM の商標です。

、SONY、メモリースティック、MemoryStick は SONY Corporation 社の登録商標です。

MultiMediaCard™ はドイツ Infineon Technologies AG 社の商標です。

Y-E Data は、株式会社 ワイ・イー・データの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または、登録商標です。

目次

1. 本マニュアルについて	4
2. 概要	4
3. Internal 7 in 1 Drive の特徴	5
3.1. サポートする OS	5
3.2. サポートする媒体	6
3.3. 各部の名称	7
3.4. 同梱品	7
4. 取付け方法	8
4.1. 取り扱いの注意事項	8
4.2. Internal 7 in 1 Drive を機器への取付け方法	8
4.3. ケーブル類の接続方法	9
5. ご使用の前に	11
6. インストール方法	11
6.1. インストール方法	11
6.2. ドライブレターの変更方法 (参考情報)	15
6.2.1. Windows XP ,2000 の場合 (例 : Windows XP を参照)	15
6.2.2. Windows Me,98 の場合 (例 : Windows Me を参照)	17
6.3. ドライバソフトウェアのアンインストール方法	19
7. Internal 7 in 1 Drive の操作方法	21
7.1. フロッピーディスクの挿入	21
7.2. メモリーカードの挿入	21
7.2.1. SmartMedia の挿入	21
7.2.2. MemoryStick の挿入	22
7.2.3. MultiMediaCard, SDMemoryCard の挿入	22
7.2.4. CompactFlash, Microdrive の挿入	23
7.3. Windows での操作方法	23
8. 制限事項	25
9. 製品仕様	27
9.1. 機械仕様	27
9.2. 電気仕様	27
9.3. 環境仕様	28
9.4. 付属の USB ケーブル仕様書	29
10. お問い合わせについて	30

1. 本マニュアルについて

本マニュアルは、**BTO (Build to Order)** 等の **PC** 組み立てを専門とするお客様に合わせて書かれております。

一般のお客様が本マニュアルを用いて、本製品をご使用頂く場合、以下の点について十分にご注意頂きますようお願いいたします。

- ・ **お手元の PC のマニュアル、マザーボードのマニュアルを十分にお読みください。**
- ・ **PC 本体への取り付けに際しては、必ず PC 本体の電源を切り、且つ PC の電源ケーブルを電源コンセントから抜いてください。**
(最近の PC は Windows を終了し、電源が切れた状態でも内部は通電状態となっています。)
- ・ **本製品添付の USB ケーブルとマザーボードの接続に関しては、事前にマザーボードのマニュアルをお読み頂き、USB コネクタの位置、ピン配列をご確認の上、接続ください。**
USB では無いコネクタへの接続又はコネクタの位置を間違えて接続された場合、本製品のみならず、他の機器、PC 本体への重大な故障に至る場合があります。

2. 概要

Internal 7 in 1 Drive は、デスクトップ **PC** の内蔵ユニットとして **USB** インターフェースと **FDD** インターフェースにより、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュ™、スマートメディア™、メモリースティック、**SD** メモリーカード、マルチメディアカード™、マイクロドライブ™の7つのメディアを各種アダプターなしでリード/ライトが可能です。

Internal 7 in 1 Drive は、本体、**USB** ケーブルから構成されています。

ご使用になるには、お使いのパーソナルコンピュータに、内部で **USB** ポートが装備されていること、お使いの **OS** が **USB** をサポートされていること、**Internal 7 in 1 Drive** 用のドライバソフトウェアがインストールされていることが必要です。

3. Internal 7 in 1 Drive の特徴

- 1) ハードは、**USB** コネクタ、**FDD** コネクタ、電源コネクタを接続し、ソフトは、デバイスドライバをインストールするだけで使用できます。
- 2) 薄型フロッピーディスクを採用し、従来のフロッピーディスク 1 台分のスペースに取付け可能です。
- 3) フロッピーディスクは、**1.44MB/720KB** のディスクをサポートしています。
- 4) **Internal 7 in 1 Drive** は、内蔵ユニットなので、ケーブルの抜き差しによる **Internal 7 in 1 Drive** の再起動又は、システムからの切り離しが困難です。そのため **Internal 7 in 1 Drive** は、フロントベゼルに **USB** インターフェース切離しスイッチを設けました。
- 5) **Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 98 SE** と幅広い環境でお使いになれます。

3.1. サポートする OS

PC	OS	ドライバソフトウェア
Windows	Windows XP	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。付属の CD-ROM から、ドライブラベル変更ドライバをインストールするとより快適にお使いになれます。
	Windows 2000	Windows 2000 Service Pack 3* 注意 1) インストール後、付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。
	Windows Millennium Edition(Me)	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。付属の CD-ROM から、ドライブラベル変更ドライバをインストールするとより快適にお使いになれます。
	Windows 98 Windows 98 Second Edition (SE)	付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。

注意：

- 1) **Windows 2000** の OS をお使いになる場合、付属の **CD-ROM** は、**Service Pack 3** 以前のドライバソフトもインストール出来ませんが、最適な環境でお使いになるには、**Service Pack 3** をインストールされる事をお勧め致します。また、**Service Pack 3** をインストール致しましたら、再び、付属の **CD-ROM** からドライバソフトをインストールしてください。

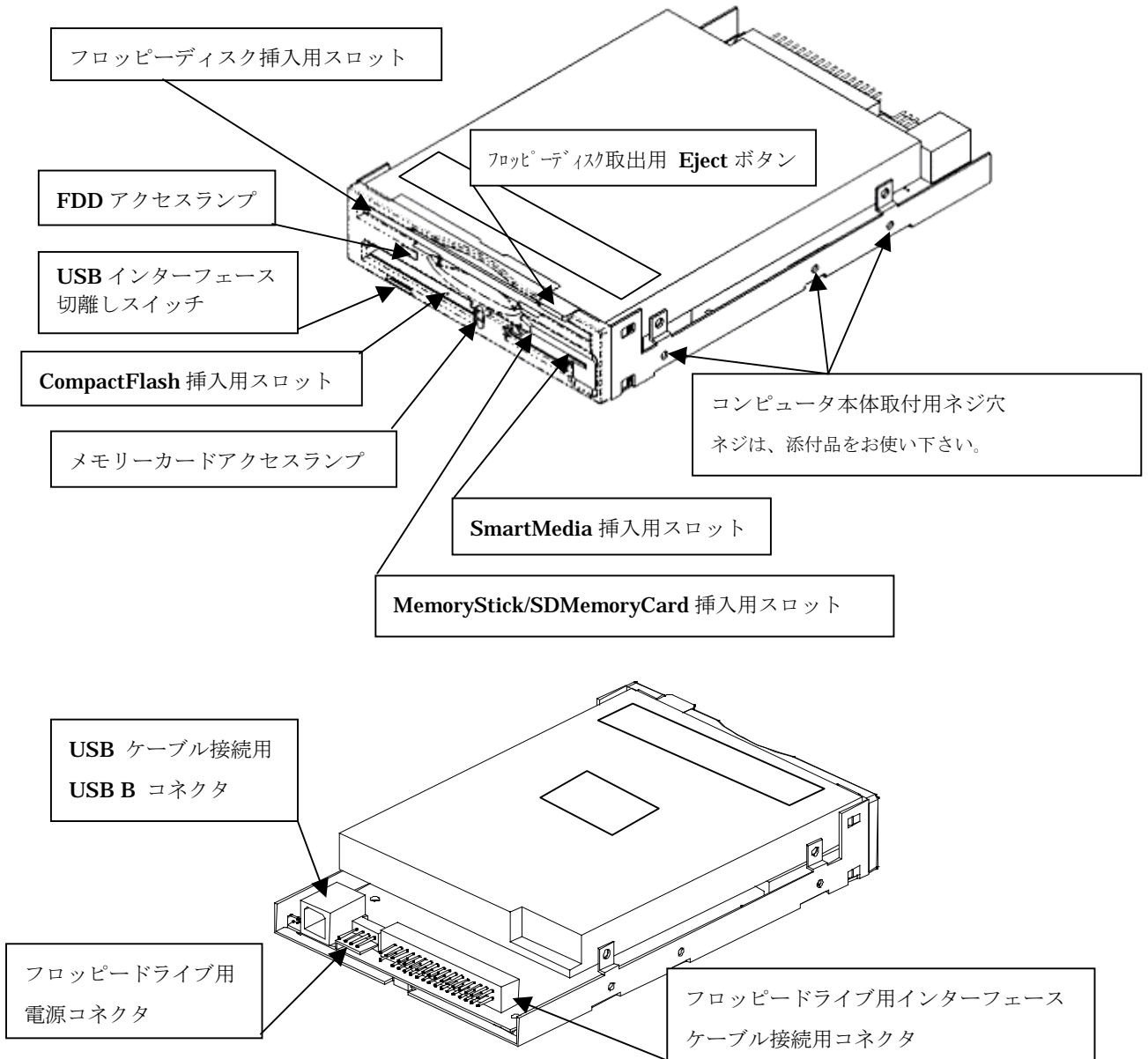
3.2. サポートする媒体

スロット	サポートする媒体
FloppyDisk	DOS フォーマットされた、2HD 1.44 MB 及び 2DD 720kB の Read/Write/Format に対応しています。
CompactFlash™	DOS フォーマットされた、コンパクトフラッシュがお使いになれます。モデム、LAN、PHS カード等の I/O カードはお使いになれません。
Microdrive™	IBM 社が製造している、Type II 型の、マイクロドライブは、1 GB の製品まで動作確認しております。 マイクロドライブは消費電力が大きいいため、ご使用の際は他のメモリーカードと同時に使用しないでください。
SmartMedia™	DOS フォーマットされた、2MB から 128MB のカードがお使いになれます。3.3V タイプ (3V と表示されているのも可) のみサポートしています。5V タイプのカードはお使いになれません。 ID 付きの SmartMedia もお使いになれますが、ID 機能には対応していません。著作権保護機能のある音楽 Data 等は、取り扱いできません。また ROM カードには対応しておりません。
MemoryStick	4MB から、128MB までのスティックがお使いになれます。Magic Gate 付きのカード (白色) もお使いになれますが、Magic Gate 機能には対応しておりませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。 メモリー以外の GPS 等の I/O カードはご使用になれません。
SD MemoryCard	8MB から 128MB までのカードがお使いになれます。256MB および、512MB のカードは対応する予定です。Secure Digital 機能には対応しておりませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。 SD I/O カード及び、SD Combo カードはご使用になれません。
MultiMediaCard™ (MMC)	16MB から 64MB までのカードがお使いになれます。Keitaide-Music 対応カードもお使いになれますが、Keitaide-Music 機能(UDAC-MB プロトコル)には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。 MultiMediaCard では、読み取り・書き込みの速度は他のカードと比較して大変遅くなります。これはカード側の規格による制限となっております。

注意：

- 1) 本マニュアルでは、上記内、フロッピーディスク以外の6種類の媒体を総称して、メモリーカードと表現しています。
- 2) Microdrive をお使いの時は、消費電力の関係で、他のメモリーカードと同時に使用しないでください。
- 3) Memory Stick、MultiMediaCard 及び、SD Memory Card は、同一のスロットを使用する関係で、同時に使用することは出来ません。
- 4) Format は、DOS Format のみサポートしています。DOS Format 以外の形式で Format されたメモリーカードは、取扱いできない場合があります。

3.3. 各部の名称



【重要】 コンピュータへの取り付け方法は、お使いのコンピュータ及び、マザーボードのマニュアルをご覧ください。

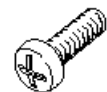
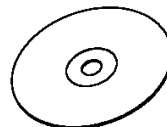
3.4. 同梱品

Internal 7 in 1 Drive 本体

USB ケーブル

ドライブ CD-ROM

ネジセット
M3×4mm (4本)



十字穴付パインドネジ
(ニッケルメッキ)

【注意】 フロッピーディスク及びメモリーカードは、付属しておりません。別途、お買い求めください。

4. 取付け方法

4.1. 取り扱いの注意事項

本製品を取り扱う際、以下の注意事項をお守りいただくようお願い致します。

- ・本製品を取扱う際、必ず、側面の本体固定ネジの部分を持つようにしてください。それ以外で持ちますと、歪み、変形や破損等の原因になる恐れがあります。
- ・取付ける際は、正しい向きで取付けてください。
- ・本製品を置く場合、横向きや下向きにして置かないようにしてください。
- ・取付ける時は、PC の内部の作業を行う前に、感電の危険や損傷を避けるため、必ず、PC の電源プラグを抜いてから行ってください。
(電源プラグを抜いてから5秒後に作業を行ってください。)
- ・PC の内部の作業を行いますので、静電気にご注意の上、行ってください。
(お手元の PC 本体のマニュアル等を参照してください。)

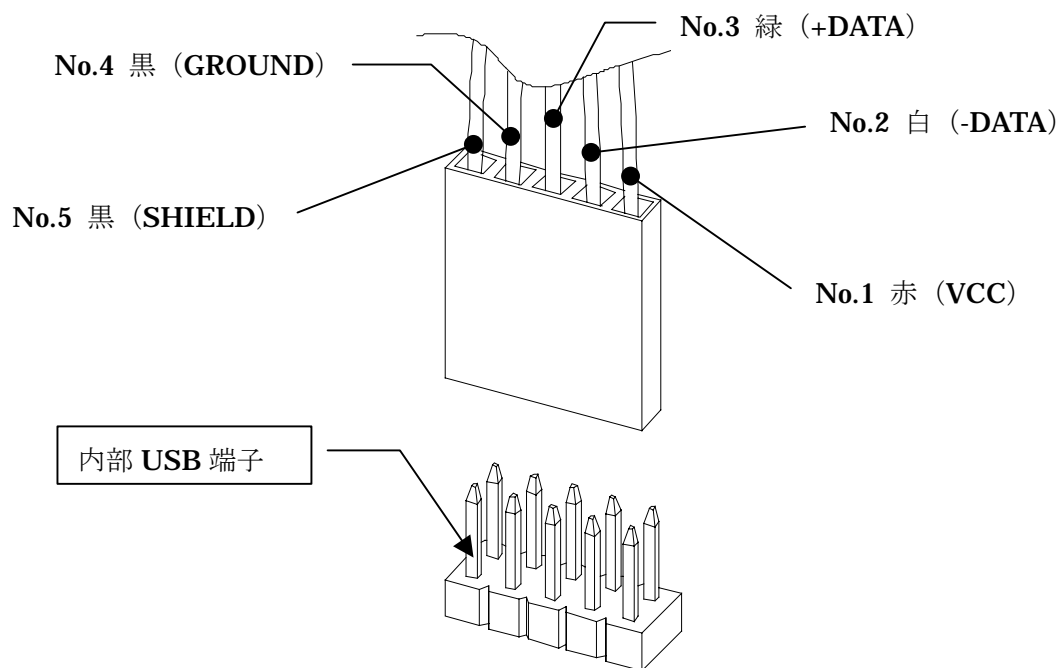
4.2. Internal 7 in 1 Drive を機器への取付け方法

- ① **Internal 7 in 1 Drive** のフロントベゼルの左下にある **USB** インターフェース切離しスイッチが **OFF"0"** になっている事をご確認してください。
- ② お手元の **PC** 本体のマニュアル及び、マザーボードのマニュアルに従って、内蔵のフロッピーディスクドライブを取り外すか、別途ドライブベイを準備してください。
【注意】 **3.5** インチベイがない場合は、市販の **5** インチベイアダプタをお使いください。
- ③ **PC** 本体の **FDD** 装着部に **Internal 7 in 1 Drive** を挿入してください。
- ④ **Internal 7 in 1 Drive** の側面取り付けタップと **PC** 側取り付け穴を合わせてください。
- ⑤ 同梱品のネジセットで側面4箇所をネジ固定してください。
(長さ **4mm** 以上のネジをご使用されますと、本製品の内部部品とネジが干渉し、不具合が発生する場合があります。)
※締付トルク : **40~60cN・m,(4~6kgf・cm)**
※推奨ネジ長さ : **M3×4 mm**
(**PC** 側の取付金具板厚 **0.5~1 mm** を想定。)
(**Internal 7 in 1 Drive** 側のネジ深さ制限 **MAX.4mm**)

4.3. ケーブル類の接続方法

- ①USB ケーブル (I/F 内部ケーブル) の 5 PIN コネクタをマザーボードの内部 USB 端子
に取付けてください。
※取付方向に注意願います。下図の参考図を参照願います。
- ②Internal 7 in 1 Drive の FDD 電源コネクタに PC の FDD 用電源ケーブルを接続する。
- ③Internal 7 in 1 Drive の FDD I/F コネクタに PC の 3 4 PIN FDD ケーブルの PIN No.1
を合わせて接続する。

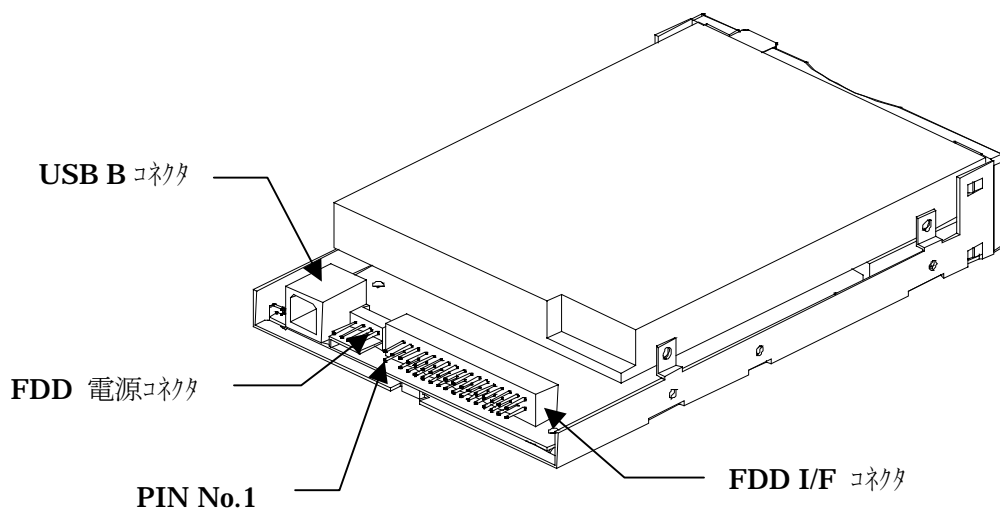
同梱品 USB ケーブルの PIN 配列図



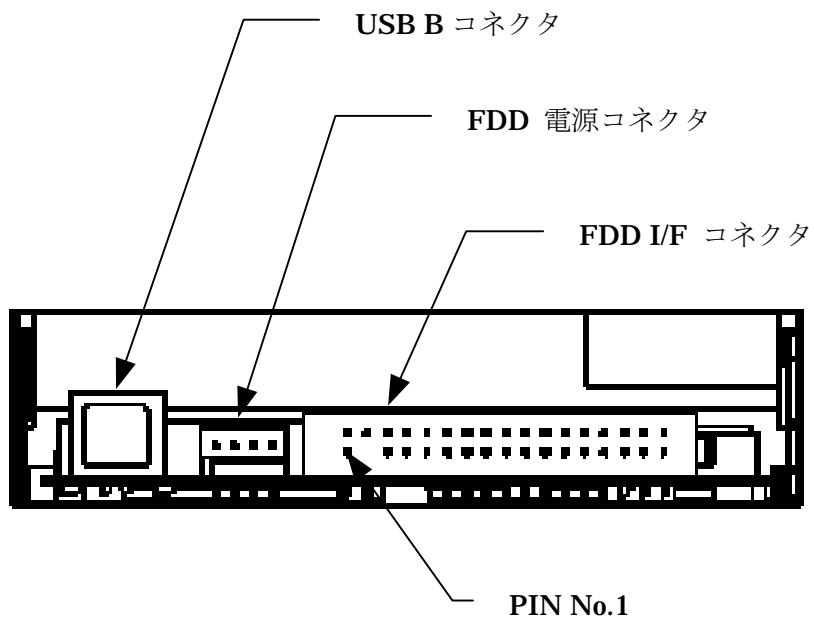
※PIN 配列については、各マザーボードごとに確認願います。

PIN 配列が異なる場合、ケーブルをコネクタハウジングから抜いて、マザーボードの PIN 配列に合わせて挿入しなおしてください。

ケーブル類の接続位置図



Internal 7 in 1 Drive の裏側正面図



5. ご使用の前に

Internal 7 in 1 Drive を OS のインストール前に組み込んでいた場合、Windows 2000,98,98SE のインストール時に各メモリーカードは、その他のデバイスとして動作しない状態になりますが、正常な動作です。Windows XP, Me に於いては、リムーバブルディスクアイコンで表示されます。

Internal 7 in 1 Drive をお使いになるには、

- ・ USB インターフェース切離しスイッチを OFF⁰にしてから、ドライバソフトウェアをインストールしてください。既に、OS をインストール済みの PC に、Internal 7 in 1 Drive を増設する場合には、Internal 7 in 1 Drive のハードウェアを PC に組み込む前に、インストーラを起動してドライバソフトウェアをインストールしてください。
- ・ インストーラを実行する前に、PC に組み込んで、ハードウェアウイザードの表示が出た場合は、必ず一旦[キャンセル]を行ってから、インストーラを起動してください。フロッピーディスク部分は、OS の標準ドライバで動作しますので、ドライバソフトウェアのインストール作業は不要です。
- ・ ドライバソフトウェアは、Windows XP 用、Windows 2000 用、Windows Me 用、Windows 98, 98SE 用の 4 種類があります。

【重要】旧版のドライバソフトウェアや、弊社 USB Hexa Media Drive のドライバソフトウェアをインストールされている場合は、Internal 7 in 1 Drive のドライバをインストールする前に、以前のドライバソフトをアンインストールしてください。Internal 7 in 1 Drive 用のドライバは、USB Hexa Media Drive を含めてサポートしています。(どちらの製品も同じドライバで動作します。)アンインストールの方法は、項 6.3 「ドライバソフトウェアのアンインストール方法」を参照ください。

6. インストール方法

6.1. インストール方法

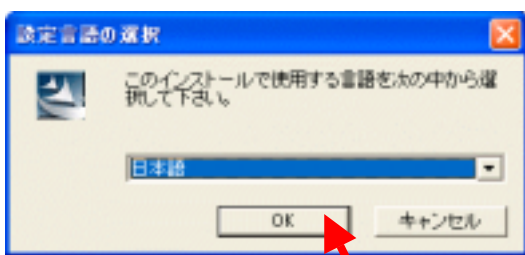
ドライバ CD-ROM は、Windows XP, 2000, Me, 98, 98SE に対応しています。ドライバ CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入しますと、自動的にインストーラが起動します。Install.exe は、OS のバージョンを判別して各 EXE ファイルを起動します。インストールの手順は、Windows XP にて説明しますが、いずれのバージョンも同様です。

- 1) Windows を起動する前に、Internal 7 in 1 Drive の USB インターフェース切離しスイッチが OFF である事を確認してください。
- 2) Windows を起動し、Administrator 権限のあるユーザ名でログインしてください。

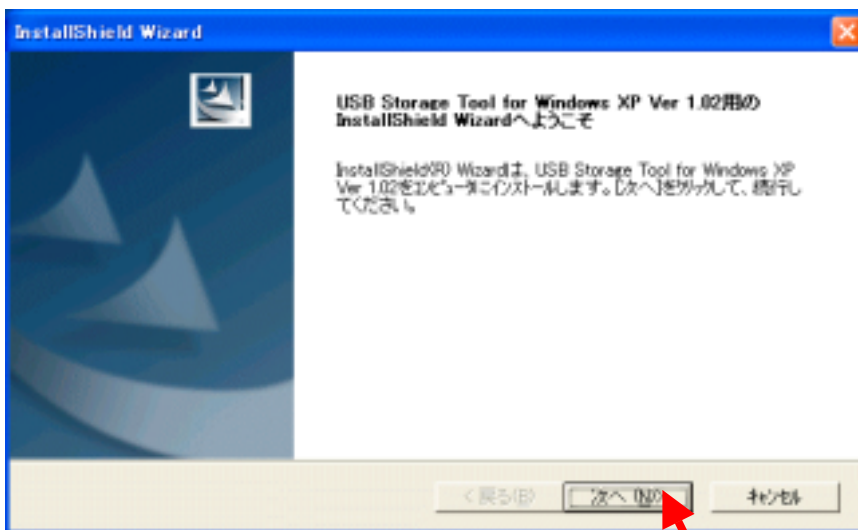
- 3) ドライブ CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入してください。自動的にインストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータから、CD-ROM を開いて、**Install** アイコンをダブルクリックして起動してください。
インストーラが表示されたら、**INSTALL** をクリックしてください。



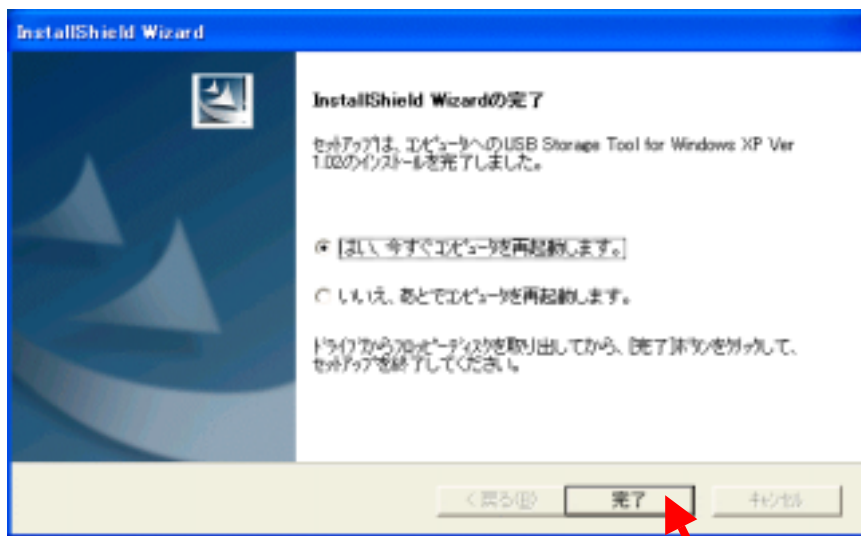
- 4) **OK** ボタンを押して進めて下さい。



- 5) インストール方法の説明が表示されます。**次へ** ボタンをクリックして、ドライバファイルのインストールを開始してください。



- 6) ドライバソフトウェアのファイルのインストールが終了しました。
完了ボタンをクリックして、インストーラを終了させてください。



- 7) **Internal 7 in 1 Drive** を、**Windows** で検出するために、お使いのコンピュータを再起動する必要があります。手順 6) で再起動するか、下記のように、**スタート** ボタンより、**[再起動]** を選んで下さい。

Windows XP の場合

スタートボタンから「終了オプション」を選択、「コンピュータの電源を切る」メニューより「再起動」をクリックしてください。



Windows 2000, Me, 98, 98SE の場合

(表示は、Windows 2000 を参照)

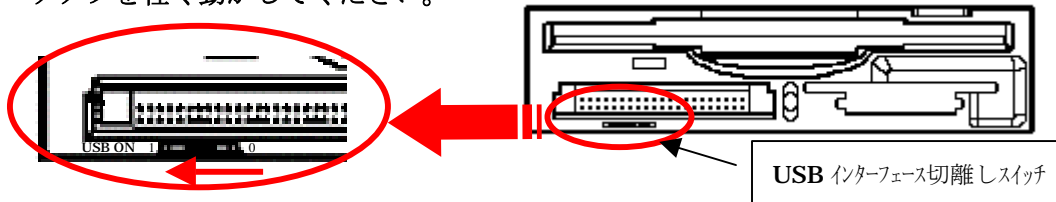
スタートボタンから「シャットダウン」又は、「Windows の終了」を選択、メニュー画面より「再起動」を選択し、OKボタンをクリックします。



- 8) コンピュータを再起動後、再び **Administrator** 権限のあるアカウントでログインしてください。

9) Internal 7 in 1 Drive の USB インターフェース切離しスイッチを “USB ON” にしてください。Internal 7 in 1 Drive は、Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダを開くと、下図のようにアイコンが4つ追加されています。尚、ドライブレター (E: や F: など) は、お使いの PC の環境により変わります。

注意：スイッチの操作は、芯が出ていないシャープペンのような、先の細い物でスイッチノブを軽く動かしてください。











Windows XP の場合
(表示は、Windows XP SP1 を参照)




Windows 2000, Me, 98, 98SE の場合
(表示は、Windows 2000 を参照)



10) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン		対応するメモリーカード
Windows XP の場合 SP1	オリジナル Windows 2000, Me, 98, 98SE の場合	
 Compact Flash Drive	 CompactFlash Microdrive	CompactFlash Microdrive
 Smart Media Drive	 SmartMedia	SmartMedia
 Memory Stick Drive	 MemoryStick	MemoryStick
 SD Card Drive	 SDMemoryCard MultiMediaCard	SDMemoryCard MultiMediaCard

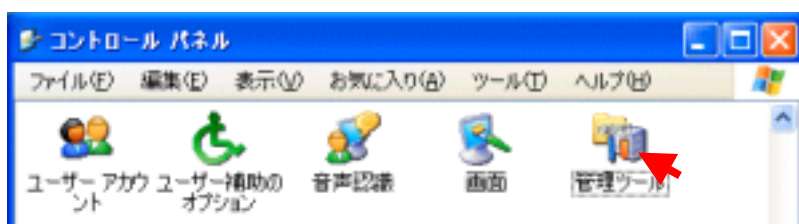
 ...Windows XP SP1 以前の OS をお使いの場合、アイコンは、左図が表示されます。

6.2. ドライブレターの変更方法 (参考情報)

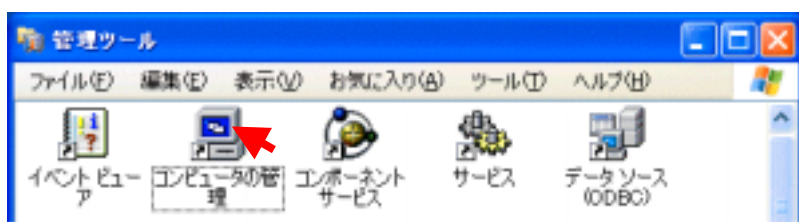
Internal 7 in 1 Drive を取付けることで、CD-ROM ドライブなどのドライブレター (E: や F: など) が変化してしまうことがあります。以下の手順で設定することにより、各メモリーカードのドライブレターを変更することが出来ます。Windows XP,2000 と Windows Me,98 では、手順が異なりますので、それぞれ説明します。

6.2.1. Windows XP ,2000 の場合 (例 : Windows XP を参照)

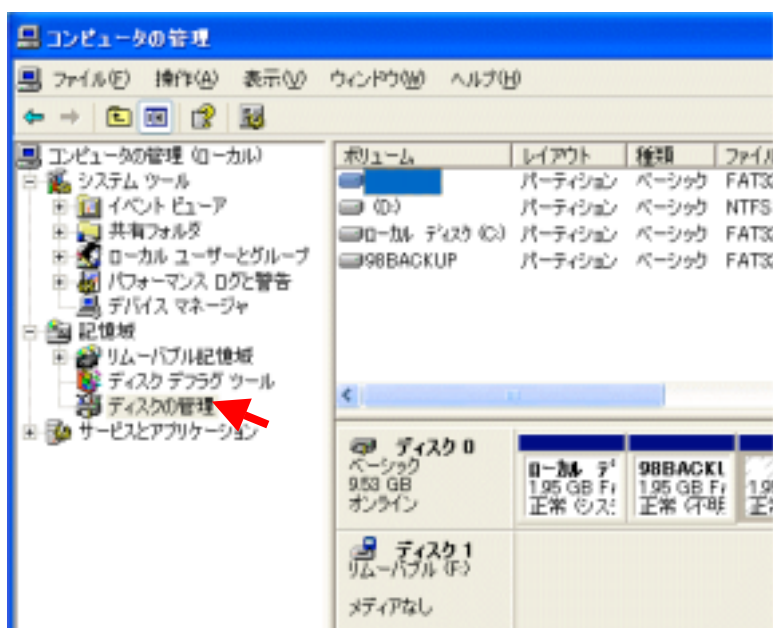
- 1) コントロールパネルより、「管理ツール」をダブルクリックして開いてください。



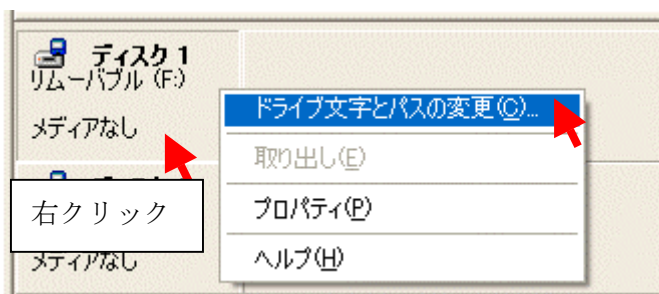
- 2) 管理ツールから、「コンピュータの管理」をダブルクリックして開いてください。



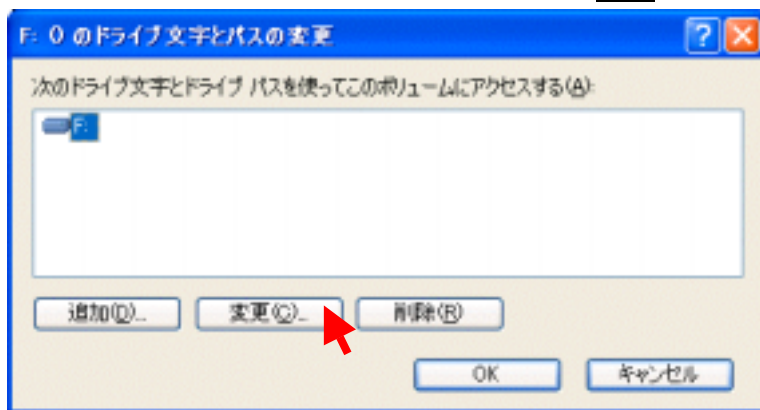
- 3) 「記憶域」ツリーの中の「ディスクの管理」を選択すると、右側にディスクの情報が表示されます。



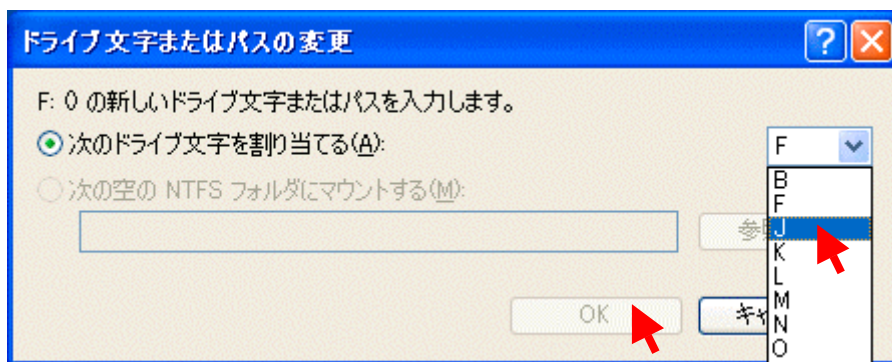
- 4) ドライブレターの変更を行いたい **Disk** を右クリックし、表示されるメニューから、ドライブレターの変更を選択してクリックしてください。



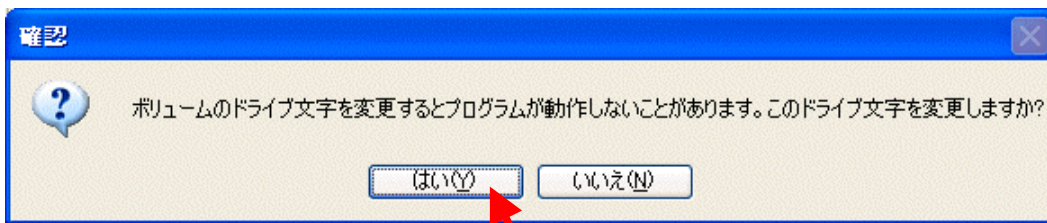
- 5) ドライブレターの変更メニューが出ますので、**変更**をクリックしてください。



- 6) 編集メニューで、ご希望のドライブレターに設定して **OK** をクリックしてください。ここでは、**CompactFlash** のドライブを、**J:** にしています。



- 7) 確認ダイアログが出ますので、**はい**をクリックしてください。



- 8) マイコンピュータを開くと、変更が反映されています。以下の例では、**CompactFlash**を**J:**、**SmartMedia**を**K:**に設定しています。

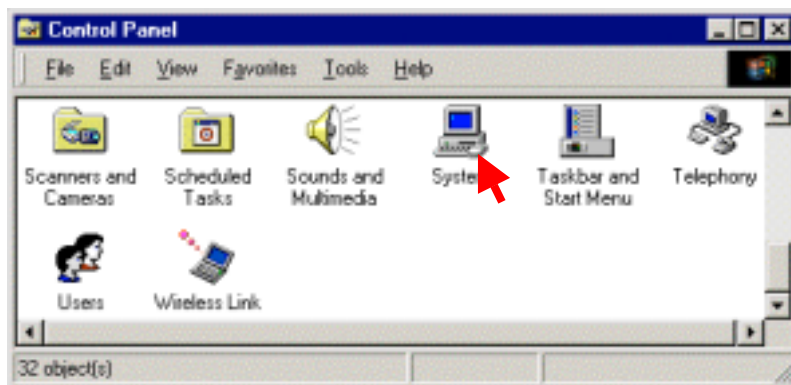


【注意】 ドライブレター変更後、**Windows XP, 2000** を起動すると、ドライブラベルが“リムーバブルディスク”と表示される場合は、再起動してください。

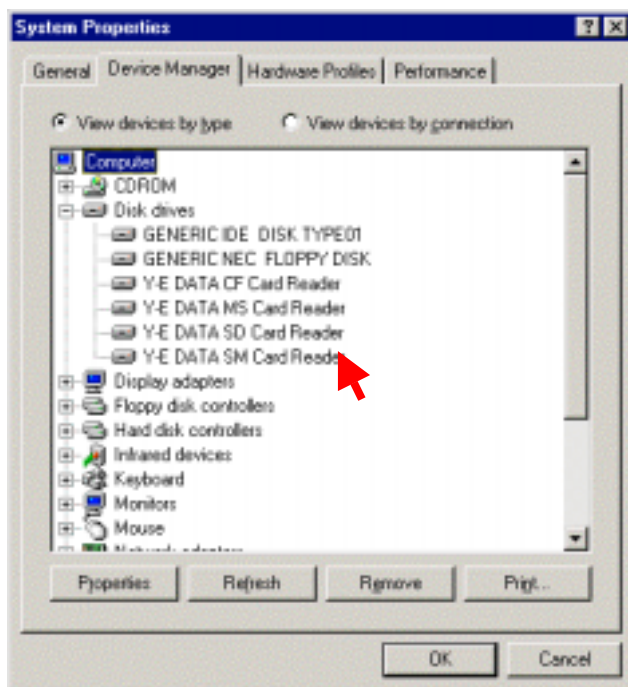
6.2.2. Windows Me,98 の場合(例：Windows Me を参照)

- 1) デバイスマネージャーを立ち上げる

「コントロールパネル」から、「システム」のアイコンをダブルクリックして、「システム」のプロパティを表示させます。次に、「システム」のプロパティの「デバイスマネージャ」タブをクリックして、デバイスの一覧を表示させます。

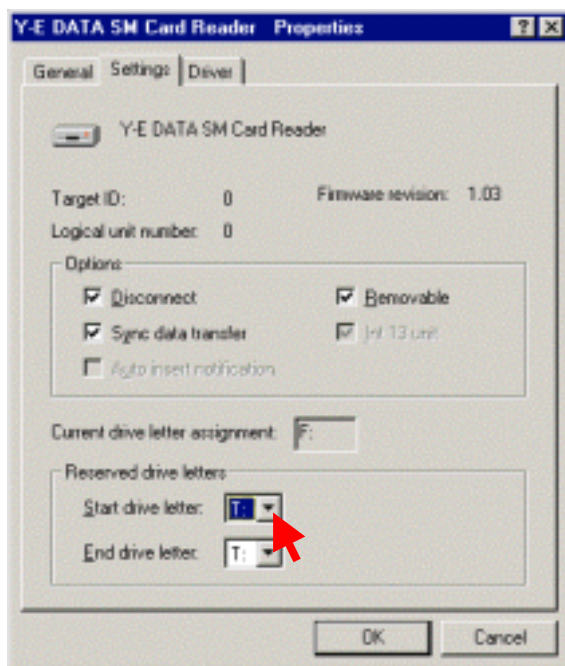


- 2) デバイスの一覧の中から、「ディスクドライブ」をダブルクリックして展開表示します。

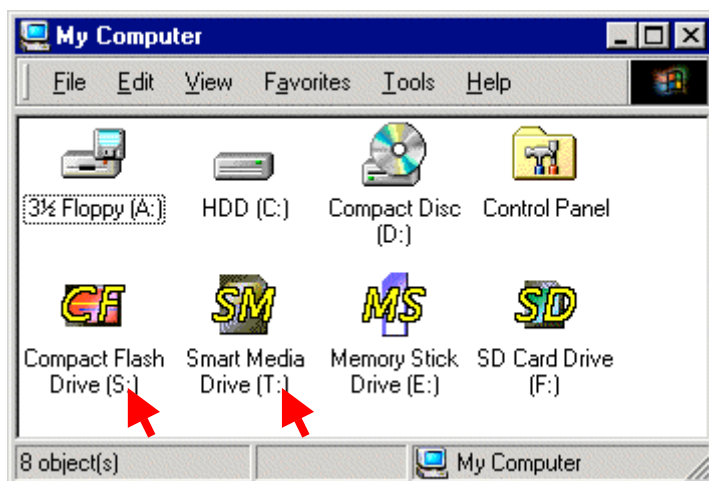


Disk Drives ツリーに表示されている” Y-E DATA CF Card Reader”は、CompactFlash を、” Y-E DATA SM Card Reader”は、SmartMedia に対応しています。

- 3) 変更したいデバイスをダブルクリックして、プロパティを表示してください。「設定」タブの中に、ドライブレターの「予約ドライブ文字」がありますので、任意のドライブレターに設定してください。ここでは、SmartMedia のドライブレターを、T : に設定しています。



- 4) 設定が終了しましたら、**OK**をクリックして、「システム」のプロパティを終了させてください。「システム」のプロパティを終了すると、**OS** は、再起動を要求しますので、それに従ってください。**OS** の再起動後、設定されたドライブレターに変更されます。下の例では、**SmartMedia** を T : と **CompactFlash** を S : に変更されています。

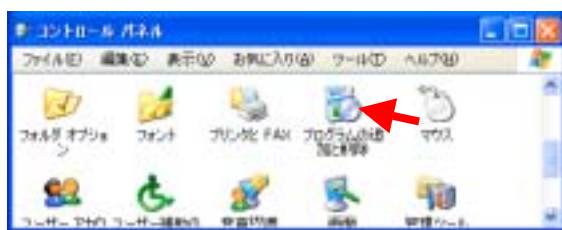


6.3. ドライバソフトウェアのアンインストール方法

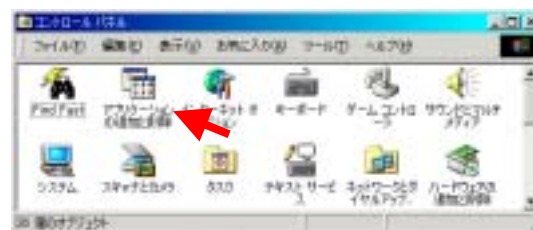
ドライバソフトウェアのアップデートを行う場合は、新しいドライバソフトウェアをインストールする前に、以前のドライバソフトウェアのアンインストールを行う必要があります。アンインストールは、以下の手順に従って行ってください。

- 1) **Internal 7 in 1 Drive** の **USB** インターフェース切離しスイッチを **OFF** にして下さい。
- 2) コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」或いは、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックして開いてください。

Windows XP の場合



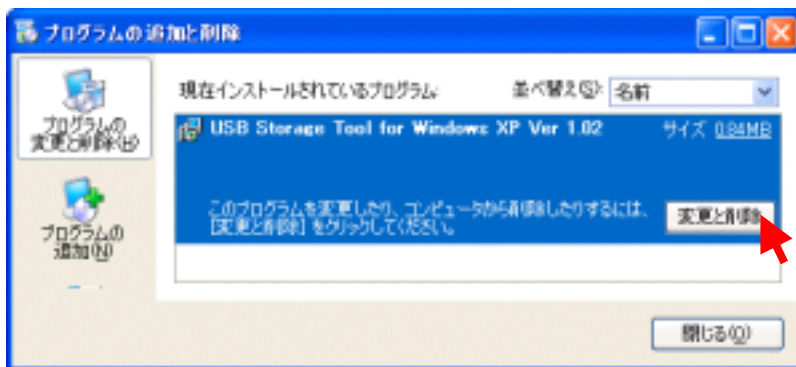
Windows 2000, Me, 98, 98SE の場合
(表示は、Windows 2000 を参照)



- 3) アプリケーションの追加と削除では、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

一覧から、「USB Storage Driver for Windows ~」を選択し、**変更と削除**のボタンをクリックしてください。ドライバのアンインストーラが立ち上がりますので、画面に従って、操作しますと、ドライバのアンインストールが行なわれます。

Windows XP の場合



Windows 2000, Me, 98,
98SE の場合
(表示は、Windows 2000 を参照)



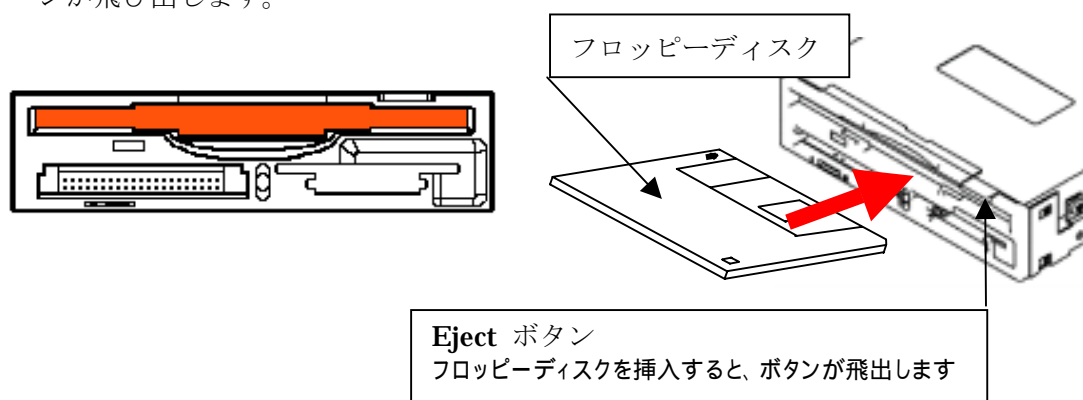
7. Internal 7 in 1 Drive の操作方法

7.1. フロッピーディスクの挿入

Internal 7 in 1 Drive のフロッピーディスクドライブは、標準の **3.5** インチフロッピーディスクドライブですので、操作方法は、一般的な単体のフロッピーディスクドライブと同じです。

1) フロッピーディスクの挿入

フロッピーディスクは、**Internal 7 in 1 Drive** の上側にあるフロッピーディスクスロットに挿入します。挿入するときは、フロッピーディスクが完全に挿入するようにしてください。正しく挿入されると、カチ音とともに、フロッピーディスク取出用 **Eject** ボタンが飛び出します。



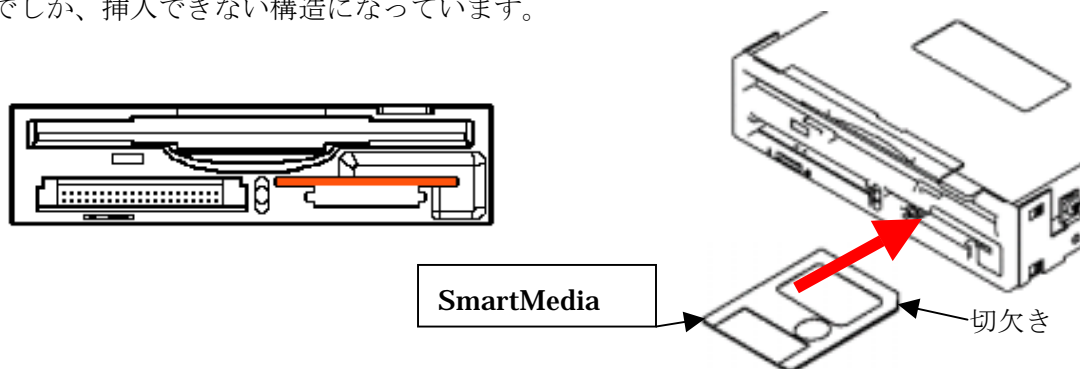
7.2. メモリーカードの挿入

7.2.1. SmartMedia の挿入

SmartMedia は、**USB** 接続のリムーバブルディスクとして動作します。

1) SmartMedia の挿入

SmartMedia は、**Internal 7 in 1 Drive** の右側にある **SmartMedia** スロットに挿入します。挿入時には、金色の端子を上にして、奥に止まるまで確実に挿入してください。**5 mm** 程飛び出した状態で止まれば、正しく挿入されています。正しい方向以外では、途中でしか、挿入できない構造になっています。



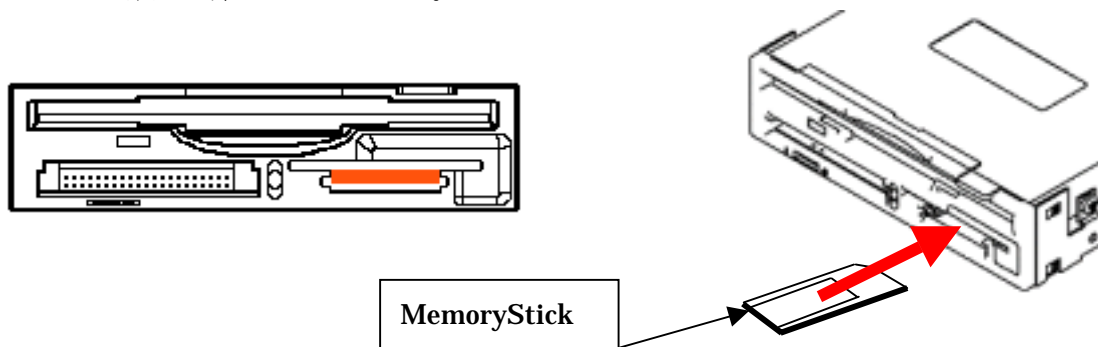
【重要】 金色の端子は上側にして挿入すること。

7.2.2. MemoryStick の挿入

MemoryStick は、USB 接続のリムーバブルディスクとして動作します。

1) MemoryStick の挿入

MemoryStick は、Internal 7 in 1 Drive の右側にある MemoryStick / SDMemoryCard スロットに挿入します。挿入時には、ラベル面を上にして、奥に止まるまで確実に挿入してください。

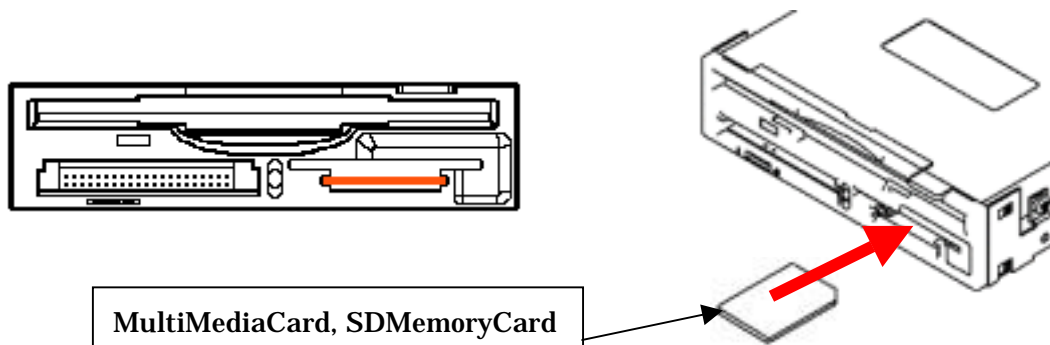


7.2.3. MultiMediaCard, SDMemoryCard の挿入

MultiMediaCard, SDMemoryCard は、USB 接続のリムーバブルディスクとして動作します。

1) MultiMediaCard, SDMemoryCard の挿入

MultiMediaCard, SDMemoryCard は、Internal 7 in 1 Drive の右側にある MemoryStick / SDMemoryCard スロットに挿入します。挿入時には、ラベル面を上にして、奥に止まるまで確実に挿入してください。

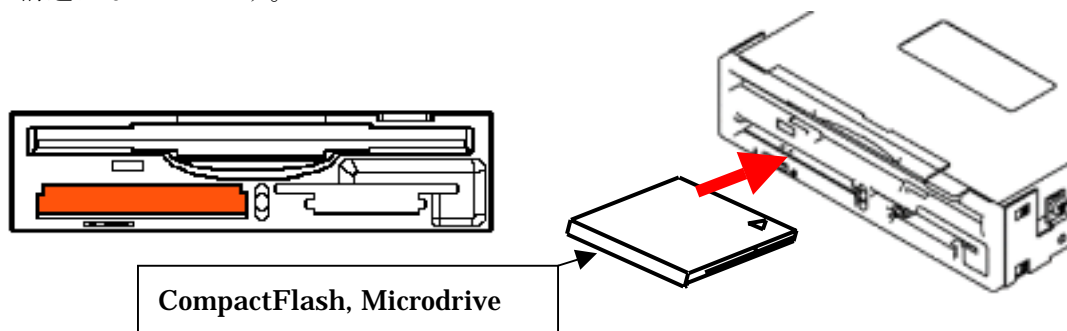


7.2.4. CompactFlash, Microdrive の挿入

CompactFlash, Microdrive は、USB 接続のリムーバブルディスクとして動作します。

1) CompactFlash, Microdrive の挿入

CompactFlash, Microdrive は、Internal 7 in 1 Drive の左側にある CompactFlash スロットに挿入します。挿入時には、奥に止まるまで確実に挿入してください。8 mm 程飛び出した状態で止まれば、正しく挿入されています。正しい方向以外では挿入できない構造になっています。

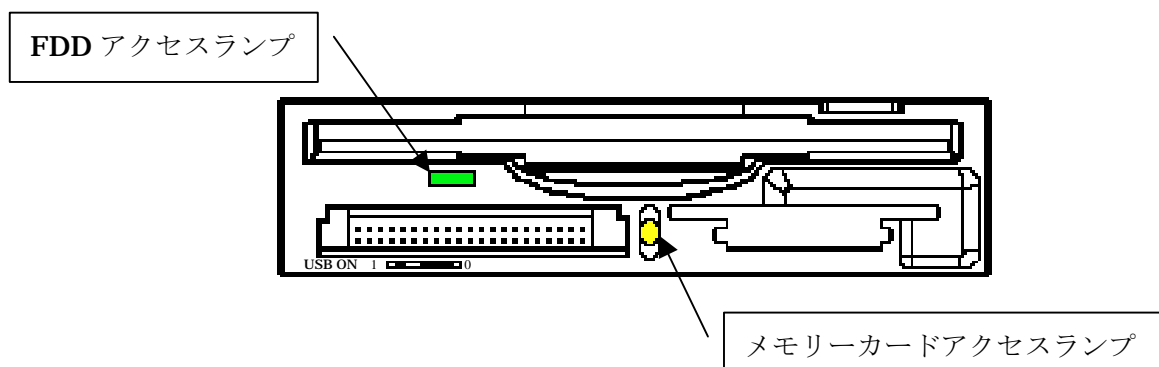


7.3. Windows での操作方法

1) メディア（フロッピー、メモリーカード）の挿入(マウント)

Internal 7 in 1 Drive へメディアを挿入すると、フロッピーは、FDD アクセスランプ、メモリーカードは、アクセスランプが点灯し、アクセス可能になります。メディアは、正しい向きで、速やかに奥まで挿入してください。ゆっくり挿入したり、途中で止めたりしますと、正しく認識できない場合があります。

(各メディアの挿入向きは、7.1.,7.2.を参照。)



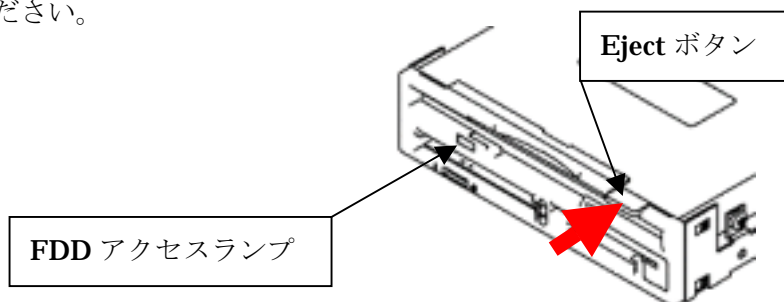
2) メディア（フロッピー、メモリーカード）の取り出し

メディア内のファイルをアプリケーションで開いていたり、ファイルのコピーをしていないことを確認してから、メディアを取り出して下さい。また、画面上ではコピーが終わったように見えても、実際にはアクセス中の場合があります。取り出し前にアクセス

ランプが完全に消えていることを確認して下さい。アクセス中に、メディアを取り出しますと、青画面になったり、メディアのデータが壊れたりすることがあります。

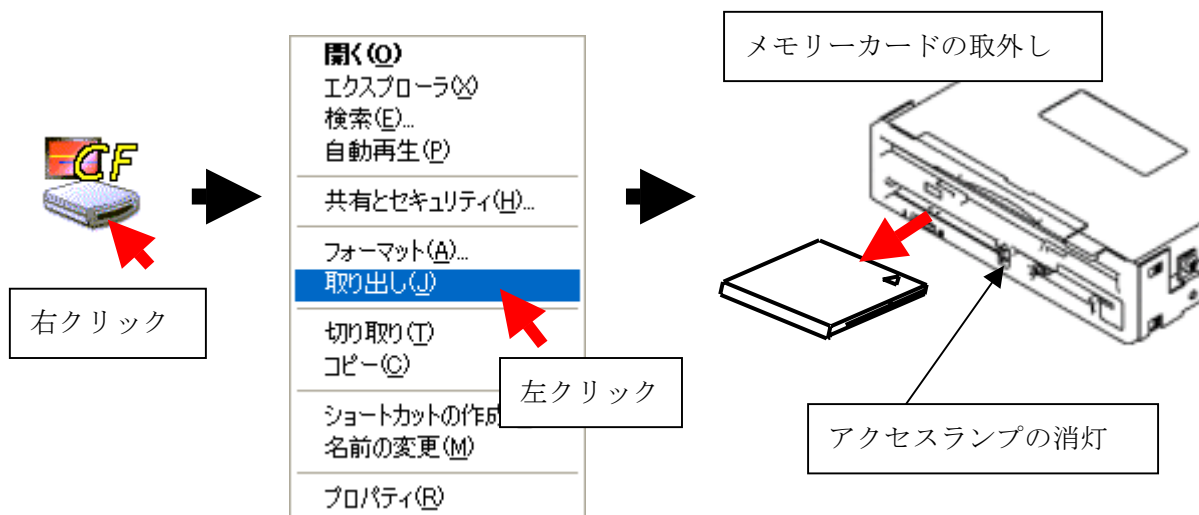
・フロッピーディスクを取り出す時は

アクセスランプが点灯していないことを確認してから、**Eject** ボタンを押して取り出してください。



・メモリーカードを取り出す時は

メディア内のファイルをアプリケーションで開いていたり、ファイルのコピーをしていないこと、アクセスランプが、消灯していることを確認してから、メモリーカードを指でつまんで引き抜いてください。メモリーカードを安全に取り出す場合、取り出し操作は、マイコンピュータからメモリーカードのアイコンを右クリックすると現れるメニューから「取り出し」を選択して行います。取り出し操作を行い、アクセスランプの消灯を確認してから、メモリーカードを指でつまんで引き抜いてください。



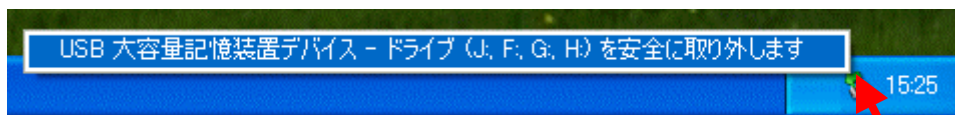
【重要】

Windows XP, 2000 で各メモリーカードに書き込みを行うと、アクセスランプが一旦消灯しても、書き込み遅延により再度アクセスが行なわれる場合があります。安全のため、アクセスランプが完全に消灯してから、**30秒程度**待ってメディアを取り出すようにして下さい。

8. 制限事項

1) Windows XP, 2000, Me での注意点

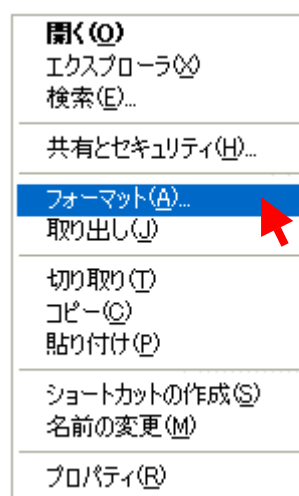
Windows XP, 2000, Me では、タスクトレイ内の取り外しアイコンが出ますが、これをクリックして取り外しを行わないでください。取り外しを行った場合は、Windows XP, 2000, Me を再起動するまで、Internal 7 in 1 Drive のメモリーカードは使えなくなってしまいます。



2) メディアのフォーマット

メディアのフォーマットは、マイコンピュータから、該当するドライブのアイコンを右クリックして、メニューからフォーマットを選択して行います。

デジタルカメラをお使いの方は、Windows でフォーマットを行うと、フォーマットの仕様の違いから、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。各メモリーカードをフォーマットする場合は、デジタルカメラでフォーマットして下さい。

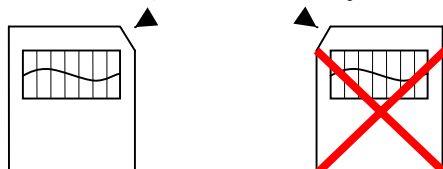


3) スタンバイ

Internal 7 in 1 Drive は、PC2000 規格のスタンバイ機能をサポートしていますが、全ての PC のスタンバイをサポートしている訳ではありません。お使いの PC にてスタンバイ動作で不具合が発生する場合は、スタンバイを行わないようにして下さい。スタンバイ中には、メディアの挿入、取り外しは行わないようにして下さい。

4) 使用可能な SmartMedia

Internal 7 in 1 Drive は、3.3V および 3V タイプ をサポートしています。旧型の 5V タイプの SmartMedia は使用できません。



3.3V および 3V タイプ

5V タイプ

【重要】 Internal 7 in 1 Drive は、5V タイプの SmartMedia は挿入できない構造になっています。無理に挿入しないようにして下さい。

5) **SmartMedia** の取り扱い

SmartMedia の端子が汚れていると、読み取りエラーが発生する原因になります。端子はきれいな状態を保つようにしてください。

6) ID 付き **SmartMedia**

Internal 7 in 1 Drive では、**SmartMedia** の ID 情報はサポートしていません。ID 付きスマートメディア™ は、通常のメディアとしての使用は可能です。

7) **DOS** モードでの制限事項

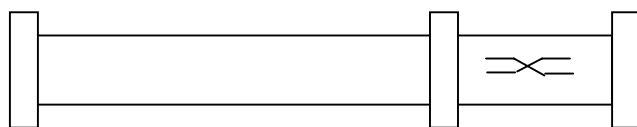
DOS モードでは、フロッピーのみが動作します。メモリーカードは **DOS** モードでは動作しませんので、お使いになるには、**Windows** を立ち上げてください。

8) ウイルススキャンソフト

常駐型のウイルススキャンソフトをお使いになると、動作が異常に遅くなったりハングアップしたりする場合があります。この場合は **Internal 7 in 1 Drive** のメディアをチェックの対象から外して下さい。

9) フロッピーディスクドライブインターケーブル

フロッピーディスクドライブインターフェースは、コンピュータのマザーボードのフロッピーディスクコントローラへ **34pin** リボンケーブルで接続して下さい。**34 pin** リボンケーブルには、通常フロッピーディスクドライブへ接続するコネクタが2つあります。先端のコネクタへ接続すると、A : ドライブになり、ケーブルの中間のコネクタへ接続すると、B : ドライブとなります。1台のみの場合は、先端のコネクタへ接続して下さい。



Computer 側

ドライブ B:

ドライブ A:

【重要】 本製品には、**34 pin** ケーブルは付属しておりません。ケーブルを逆差ししないようご注意ください。

10) フロッピーディスクドライブの **BIOS** 設定

コンピュータの **BIOS** 設定では、フロッピーディスクドライブは、レガシーの **3.5** インチ **1.44M** として設定してください。一部のコンピュータでは、**BIOS** にて **3 MODE** サポートがありますが、**Windows** でお使いの場合は、**3 Mode** に設定しないようにして下さい。**Windows** で正しくアクセスが出来なくなる場合があります。

9. 製品仕様

9.1. 機械仕様

	項目	仕様
本体	外形 (突起含まず)	101.6 ±0.4 mm (W) X 25.4 ±0.5 mm (H) X 155 ±1 mm(D)
	質量	342 g (TYP)
	色(標準)	フロントパネル：パールホワイト

9.2. 電気仕様

項目	仕様	
	FDD	USB Card Reader
USB仕様		USB spec. REV.1.1 準拠 FUUL SPEED(12Mbps)
電源電圧	DC5V ± 5%、	DC 4.75 V to 5.25 V
消費電流	830mA(Max) *1	500 mA (Max) *2
規格	UL, cUL, CE, FCC-Class B, VCCI Class B	
アクセスランプ	緑色。 FDD アクセス時に点灯	黄色。 USB カードリーダー アクセス時に点灯

*1 電源電圧 5.0 V で、一般的なフロッピーディスクを使用した場合です。

*2 マイクロドライブ使用時を除きます。

9.3. 環境仕様

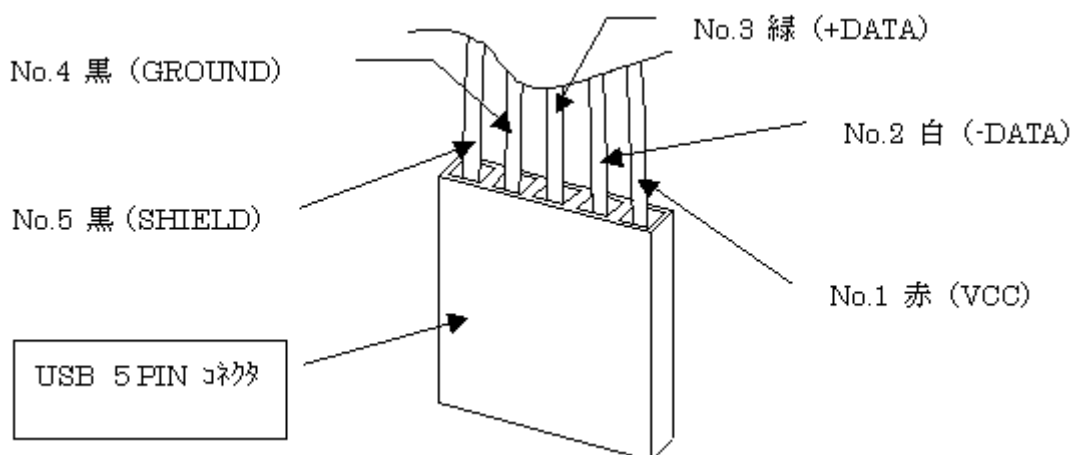
項目	動作時	非動作時
温度	5 ~ 40	-30 ~ 60
湿度	30 ~ 80 %RH	結露しないこと
最大湿球温度	29	-----
振動 掃引時間 : 5.6 分 試験時間 : 各方向 10 分 掃引方向 : XYY'	9.8 m/s ² (10 ~ 200 Hz) (1.0G)	19.6 m/s ² (10 to 500 Hz) (2.0G)
	4.9 m/s ² (200 ~ 500 Hz) (0.5G)	
衝撃 衝撃方向 : XYY'	49 m/s ² (11ms Half Sine) (5.0 G)	980 m/s ² (11ms Half Sine) (100G)
静電耐圧	IEC 61000-4-2 厳しさレベル2に準拠 (接触放電)	
	IEC 61000-4-2 厳しさレベル3に準拠 (気中放電)	

9.4. 付属の USB ケーブル仕様書

項目	仕様
USB コネクタ	USB Type B コネクタ
5 ピン コネクタ	ハウジング: RE-05(JST) or 相当品 ターミナル: RF-SC2210(JST) or 相当品
ケーブル長	70cm

PIN配列

USBコネクタ PIN No.	リード線(Lead Wire)		5 ピンコネクタ
	信号名	電線色	
1	VCC	赤(Red)	1
2	-DATA	白(White)	2
3	+DATA	緑(Green)	3
4	GROUND	黒(Black)	4
Plug Shell	Shield	黒(Black)	5



【重要】

接続前に、お使いのコンピュータのマニュアルにて、PIN配列が一致しているか確認してください。

10. お問い合わせについて

お問い合わせは、ご購入されたお店もしくは、外装に記載されている販売店までお願いいたします。